

### 30年度からブックセカンドを実施

#### 3歳児健診で絵本を贈る

#### 大久保に子ども図書スペース新設

**問** 大久保地域にも子ども読書の拠点施設が必要ではないか。また、3歳児健診時に絵本を贈るブックセカンドを実施してはどうか。

**答** 現在、あかし市民図書館や西部図書館など、子どもが本に親しめる環境の整備を進めている。しかし、市の中央部に位置する大久保地

区は、市内で最も人口増加率が高く、子育て世代が多く住んでいるにもかかわらず、読書の拠点となる施設がない状況である。

そこで、平成31年4月から大久保にある産業交流センターの駐車場の一角に開設する(仮称)明石子どもセンター内に、子ども図書ス

ペースを設ける予定だ。このセンターは、本市の子育て支援の拠点として位置付け、児童相談所と子育て支援センターを併設するものだ。

また、29年2月から始めた4カ月児健診時のブックスタートは、保護者アンケートで95%以上の共感の声があり、9割近くが絵本を楽しむ時間が増えたと答えている。本に触れ合う機会を継続的



もっと本に触れ合う機会を(ブックスタート)

に提供するため、社会性や聞く力が高まる3歳児健診時に絵本を贈るブックセカンドを30年度から実施したい。

### 児童自立支援施設 明石学園 教育環境が課題 改善に向け県とも連携

**問** 明石学園は、県が児童福祉法第44条に基づき設置し、管理運営する児童自立支援施設であり、市立魚住中学校の分教室でもある。同学園は、教室の定員超過やエアコンの未設置など、他の市内中学校と比べて教育環境に差があると考えるが、現状について、市の見解を問う。

また、市が児童相談所を設置した後は、これまで以上に学園と連携

**答** 明石学園には、県内各地から児童生徒が入所している。施設の性格上、年度途中の転入生が多く、年度当初に比べ児童生徒数が増加する。学級増に伴う教員配置については、兵庫県播磨東教育事務所と明石市教育委員会が状況を確認した上で市から県に働きかけている。また、施設改善は学園長を通じ、県に要請することができる。

現在、本市の児童生徒の入所措置は、県の中央子ども家庭センターが行っているが、市が児童相談所を設置した後は、本市が行うこととなる。今後も学園と緊密に連携し、自立のための適切な支援に努めていく考えだ。

### はたちのつどい2018

#### 新成人が企画

#### 大人の自覚と責任を考える

**問** 成人式について、本市の考えと平成30年の開催予定を聞く。

区は、市内で最も人口増加率が高く、子育て世代が多く住んでいるにもかかわらず、読書の拠点となる施設がない状況である。

今年、1月8日の成人の日には市民会館での開催を予定しており、30年と31年に成人を迎える31名が、実行委員として準備を行っている。このほか、実行委員は、B-1グループのボランティアへの参加をはじめ、こども食堂への協力、熊本地震災害救援のための募金活動、選挙啓発活動への参加、市内各地で

の一人一人が大人になったことをしっかりと自覚し、その責任について考える重要な節目の日として、主体的で意義のある式典となるよう引き続き実行委員会の取り組みを支えていく考えだ。

た、本市の待機児童の多くは2歳以下であるため、2歳児までを対象とする小規模保育所を推進している。

今後、明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画を踏まえ、

### 待機児童解消の取り組み

#### 公立幼稚園の3歳児受け入れ拡充

#### 預かり保育の時間延長も

**問** 公立幼稚園での3歳児の受け入れと預かり保育の現状を問う。

一人でも多くの方が速やかに利用できるよう準備の整った園から順次開始する。その際、これまで培ってきた経験や知識の共有と職員の増員により、安全で丁寧な保育を実践していく。幼稚園利用者の預かり保育料は、保育所利用者との整合性を図るため、一定の負担軽減を行う予定だ。ま

開設には3歳以降の受け入れ施設の設定が必須であるため、保育所やこども園のほか、幼稚園を設定することも可能とした。

3歳児の受け入れと預かり保育を実施する幼稚園について、将来の認定こども園も見据えた事業を実施していく。

**答** 本市の成人式は、実行委員会を新成人等で構成すること、新成人自らが企画し、準備や当日の進行などを主体的に行い、魅力的な式典を目指していくとともに、参加意識



新たな門出を祝う

本市は待機児童解消に向け、保育所開設・分園の設置、既存施設の定員増、企業主導型保育事業の推進などの取り組みを進めている。このたび、新たに公立幼稚園で3歳児の受け入れ拡充と預かり保育を18時まで延長する。

今後、明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画を踏まえ、



健やかな成長を願って

今後、明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画を踏まえ、

3歳児の受け入れと預かり保育を実施する幼稚園について、将来の認定こども園も見据えた事業を実施していく。

### 請願

▽不採択となった請願  
○政務活動費の報告書類等をインターネットで公開することを求める請願

### 傍聴のご案内

本会議・委員会を傍聴してみませんか。受付は本会議・委員会の当日に行います。団体での傍聴を希望する場合は、あらかじめ市議会事務局までご連絡ください。また、手話通訳、要約筆記等が必要な場合は事前にご相談ください。

#### ●本会議

受付は、市役所議会棟3階の傍聴者ロビーで行っています。傍聴席は75席あり、車いす用のスペース(3席程度)も設けています。車いすをご利用の方は、事前にご連絡ください。なお、本会議の様子は、傍聴者ロビーや本庁舎2階のモニターでもご覧になれます。

#### ●委員会

委員会も本会議と同様に傍聴できます。市役所議会棟2階の委員会室にお越しください。



明石市議会事務局 議事課 TEL (078) 918-5060 FAX (078) 918-5112

### 議員ふもやま話

長いようで短い、短いようで長い30年の歴史になりつつある平成時代。この平成時代は、私自身にとって大転換の、いわば激動の時代、人生の転換期でもありました。平成7年1月に起きたあの「阪神・淡路大震災」により、やむなく転職、それから家族を養うため慣れない仕事にも歯を食いついてきた8年間。その間に3人の子供が高校を卒業し、現在はそれぞれの道で頑張っています。今改めて、あの一番苦しかった8年間が、私にとって人生で一番大事な試練、いや「授業」であったと感謝しています。もっとも苦しい中で働く人、たくさんいるのいい先輩との出会い等々。地平らかに天成的・・・平成時代。新たな元号が楽しみです。